

ガバメントクラウドネットワーク運用管理補助業務仕様書

1 業務名

ガバメントクラウドネットワーク運用管理補助業務

2 委託期間

契約締結の日から令和7年3月31日まで

3 業務内容

令和7年4月1日にAWS上のASP事業者と接続するため、国が公表している「地方公共団体情報システムのガバメントクラウドの利用について【第2.0版】」に従い、ネットワーク運用管理補助業務を実施するための単独利用環境の構築（DirectconnectGateway、TransitGatewayの構築・設定及びDNSの設定（単独利用環境における必須適用テンプレートの適用を含む））。

ドキュメント名：地方公共団体情報システムのガバメントクラウドの利用について【第2.0版】

https://www.digital.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/c58162cb-92e5-4a43-9ad5-095b7c45100c/59fd75df/20240424_policies_local_governments_outline_03.docx

4 ネットワーク運用管理補助者の業務範囲

単独利用環境の構築

概要	具体的な作業
クラウド接続サービスとアプリケーションサービスの設定	DXGWとTransit Gatewayの作成と設定等を行い、クラウド接続サービスとガバメントクラウド上の個別アプリケーションサービスが通信できるようにすること。
ASP事業者との接続確認	Transit Gateway等を用いて、庁内ネットワークからASPベンダーが準備するシステム（ASPアカウントのVPC等）に接続できるように設定すること。必要に応じてASP事業者間の調整等を行うこと。 【対象システム】 生活保護システム、生活保護レセプト情報システム、児童扶養手当システム

① ガバメントクラウドのAWSにガバメントクラウド接続回線と標準準拠システム等と接続する単独利用環境（以下単独利用環境という）を構築するための手続き支援をすること。

② 令和6年度中は、ASPとの名前解決は、既設庁内DNSを使用する。

5 成果物

次のドキュメントを納品すること。ファイル形式はPDFとすること。

- (1) 単独利用環境の構成図
- (2) ネットワーク環境のパラメーターシート（設計図）
- (3) ネットワーク構築手順書

6 インシデント発生時の報告

- (1) インシデントが発生したときは、初報、最終報告のほか、必要に応じて随時進捗を報告する

こと。

(2) 報告方法はメール、WEB 等の電磁的記録とすること。

7 秘密を守る義務

受注者は、発注者の承諾なく、職務上知りえた秘密を漏らしてはならない。その職を引いた後もまた同様とする。

8 その他

(1) 受注者は、発注者の承諾なく、職務上知りえた秘密を漏らしてはならない。その職を引いた後もまた同様とする。

(2) 令和 7 年度にガバメントクラウド運用管理補助業者が変更となった場合においても、円滑に業務の引き継ぎを行えること。